

電通グループ調達ポリシー

クライアントへのサービスを通じて社会の発展に貢献することを使命とするグローバル企業として、株式会社電通グループ及びその子会社（以下「dentsu」といいます。）は、高い誠実性、倫理観及び責任ある事業慣行の実践を重視しています。

多岐にわたるビジネスを展開するためには、サプライヤーの皆様の協力が不可欠であり、dentsu は、多くのサプライヤーと多様なサプライチェーンを構築しています。

本ポリシーは、サプライチェーンの責任ある一員として、調達における dentsu のコミットメントを示すものであり、以下6つの主要原則から構成されます。

1. サプライヤーに対する期待の明示

dentsu は、サプライヤーとの適切な関係を実現するために、サプライヤーに期待する行動を「電通グループ サプライヤー行動規範」に明示しています。

dentsu は、電通グループ サプライヤー行動規範に加えて、調達に関する具体的な統制を定めています。

2. デューデリジェンスの実施

dentsu は、新規及び既存のサプライヤーに対して適切にデューデリジェンスを実施します。

dentsu は、デューデリジェンスの結果に基づいて、サプライヤーのビジネスを理解するとともに、贈収賄や汚職などのリスク評価を行い、その結果を調達活動に反映します。

3. 調達に関する意思決定

dentsu は、dentsu とクライアントとの価値創造に積極的に協力頂けるサプライヤーを求めており、品質、コスト、リスクの種類と影響度、持続可能性などの要素に基づいて、総合的に意思決定を行います。

4. 契約の締結と遵守

dentsu は、責任と成果物を明確に設定するために、サプライヤーと契約を締結し、それを遵守します。

5. 機密情報保護

dentsu は、調達に関するあらゆる機密情報を保護するために、セキュリティ対策及び機密保持に取り組みます。

6. 価値創造

dentsu は、包括的なデューデリジェンス及び評価プロセスを通じて、「INTEGRITY」「PEOPLE & CULTURE」「INNOVATION」「ENVIRONMENT」という重要テーマに沿って、サプライヤーが dentsu の目標と整合しているかを確認します。

dentsu は、環境リスク、機会、レジリエンスへの配慮を調達活動に組み込み、dentsu の価値創造と責任ある事業活動への取り組みを、調達活動における意思決定を通じて支えるよう努めます。

dentsu は、dentsu の事業活動だけでなく、サプライヤーを含むバリューチェーン全体において、排出量の削減に取り組めます。

dentsu は、国際的に認められたあらゆる人権文書および国連が定める「ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs）」に基づき、人権を尊重します。